

リビエラ新春親善レース 2025
(Shonan Race 1月)

Sailing Instructions

【帆走指示書】



1. 参加者への通告

1-1. 競技者への通告は下記に掲載する。

Facebook (<https://www.facebook.com/riviera.yacht.race>)

リビエラ新春親善レースweb(<https://www.riviera.co.jp/marina/event/shonan-race/index.html>)

1-2. 帆走指示書の変更は、リビエラ新春親善レース・ホームページの公式掲示板に当日8時30分までに掲示する。海上で帆走指示書を変更する場合本部艇より口頭で通告される。

1-3. 荒天による中止の場合は、公式掲示板による掲示以外に、近隣の各ハーバーへもFAXまたは電話にて通知する。

海上集合後においては本部艇にH旗の上にN旗(N/H)又はA旗の上にN旗(N/A)を掲揚するとともに、運営艇によりできるだけ各艇に通知する。

ただし通知がレース艇に伝わるかどうかについてレース運営者は責任を持たない。

荒天の場合陸上で中止は当日の午前8時30分までに決定する。

2. [SP] 出艇申告書兼乗員リストの提出

2-1. 出艇申告書兼乗員リストはレース当日1月5日(日) 7:30~9:30の間にレース本部にメール添付またはFAXにて提出すること。

申告書をスマホ撮影→メール添付でOK。文字が判別できるか必ず確認すること。

mail: yachtrace@riviera.co.jp FAX: 046-881-6120

2-2. レース本部に持参する場合は8:30~9:30の間に提出すること。

2-3. 出艇申告をしたにもかかわらずスタートしなかった艇は、その艇の責任者が速やかにレース本部に届けること。

2-4. IRCクラスに関してはIRCルール22.4を適用しない。

3. ライフジャケットの着用

全乗員は、出港時から帰港するまでの間、艇内の閉ざされた空間にいる場合を除き、有効な浮力を有するライフジャケット(外洋特別規定(OSR)2024-2025 附則Bインショアレース用特別規定5.01.1 およびOSR国内規定)を着用しなければならない。

JSAF非登録艇の場合のライフジャケットは、国土交通省型式承認TYPE A(桜マーク)でなければならない。

4. [SP] レース艇の認識

4-1. レース旗とクラス旗をスターン付近の目立つ位置に掲揚すること。

4-2. レース参加艇はレース旗として湘南レース旗を用いる。但し新春親善レースのみ参加の艇は湘南レース旗を掲揚する必要はない(クラス旗をレース旗に代用する)。

4-3. IRCクラス(湘南レースIクラス)はレース旗の下方にクラス旗としてイエロー旗を掲揚すること。

4-4. ORCクラス(湘南レースOクラス)はレース旗の下方にクラス旗としてピンク旗を掲揚すること。

4-4. オープンクラス(湘南レースNクラス)はレース旗の下にクラス旗としてホワイト旗 (Shonan Race 旗) を掲揚すること。

4-5. ダブルハンドクラスはレース旗の下方にクラス旗としてグリーン旗を掲揚すること。

4-6. イエロー旗、ピンク旗、ホワイト旗、グリーン旗、湘南レース旗の手持ちが無い艇は事前に申し出ること。

5. レース日程

2025年1月5日 (日)

10:25 予告信号 (原則として全クラス同時。艇数が多い場合はクラス分けする)

14:00 タイムリミット

6. コース

スタート(小網代灯標付近)→秋谷沖マーク(反時計)→フィニッシュ(小網代灯浮標付近)

秋谷沖マークのおおよその位置 < 北緯 35度13分00秒 東経 139度33分17秒 >

マークの位置はおおよその位置であり状況によりずれる場合もある。

亀城礁灯台の東側を通過してはいけない。

7. マーク

7-1. 桃色 (ピンク) の膨張ブイを使用する。

7-2. M旗を掲揚した運営艇を代替マークとする場合、錨泊していない場合もある。

8. スタートライン

8-1. スタートラインは、スターボード側にあるオレンジ旗を掲揚した本部艇のポールとマーク (桃色 (ピンク) の膨張式円筒型) の見通し線とする。

8-2. スタートラインはスタートの10分後に消滅する。それまでにスタートしなかった艇はDNSと記録される。

9. フィニッシュライン

フィニッシュラインはポート側にある青色旗を掲揚した本部船のポールとマーク (桃色 (ピンク) の膨張式円筒型) の見通し線とする。

10. スタート方法

10-1. 原則として全クラス同時。艇数が多い場合はスタートを分ける事がある。掲揚されるクラス旗に注意すること。

10-2. RRS規則26に従ってスタートは行われる(以下参考)。

予告信号 (5分前) クラス旗掲揚 音響信号1声

準備信号 (4分前) PまたはI旗及びU旗掲揚 音響信号1声

1分信号 (P・I・U) 準備旗降下 長音1声

スタート クラス旗降下 音響信号1声

★クラス旗	OPEN クラス	(湘南レース Nクラス)	ホワイト旗(湘南レース旗)
	IRC クラス	(湘南レース Iクラス)	イエロー旗
	ORC クラス	(湘南レース Oクラス)	ピンク旗
	ダブルハンドクラス		グリーン旗

11. 個別のリコール

個別のリコール艇があった場合、音響信号1声とともに、X旗を掲揚する。X旗はリコール艇の全てが、スタートラインの延長線のプレスタート・サイドに完全に入るまで、またはスタート信号後4分後までのうち早い方まで掲げられる。

12. ゼネラル・リコール

12-1. ゼネラル・リコールの場合は、音響信号2声とともに第1代表旗を掲揚する。

12-2. ゼネラル・リコール後の再スタートは、第1代表旗降下1分後に予告信号を発する。

12-3. 艇数によりスタートをクラス分けする場合もスタート順は変わらない。

13. コースの短縮

13-1. コースの短縮は、回航マークにて行われる。リビエラカップ旗を掲げた公式運営艇にS旗を掲げ音響信号2声を発する。公式運営艇のリビエラカップ旗を掲げたマスト又はポールと桃色のブイの間をフィニッシュラインとする(RRS規則32の変更)。

13-2. S旗と同時にクラス旗が掲揚されている場合、当該クラスのみコース短縮とする。

13-3. コース短縮の公式運営艇は錨泊していない場合もある。

14. 帰着申告

フィニッシュを持って帰着申告とする。スタートしたにもかかわらずフィニッシュしなかった艇は、速やかにその艇の責任者がレース本部に連絡する事。

※海上にてレースが中止となった場合、各艇は帰港後速やかにレース本部に電話にて帰着申告をしなければならない。艇名、連絡者名、船体乗員の状況を報告すること(厳守)。

15. 事故報告

人員の負傷、落水など、また船体の損傷を伴う、衝突、座礁などがあった場合、抗議救済の要求の有無に関わらず事故報告書をレース本部まで提出すること。事故状況、日時、関係艇、場所、提出者名、連絡先などを書面でFAXまたは持参すること。

16. タイムリミット

全艇14時とする。14時までにフィニッシュしなかった艇はDNFと記録される(RRS規則35の変更)。

17. レースの成立

各クラスのトップ艇のフィニッシュをもって成立とする。

18. 失格に代わる罰則及びペナルティー

RRS第2章およびRRS31の規則違反についてはRRS規則44.1及び44.2を適用する。

その他ペナルティーはタイムペナルティーとし、OCSは所要時間に5%、[DP]と表示された裁量ペナルティーはプロテスト委員会の裁量により、0%から5%の所要時間に対するタイムペナルティーとして失格より軽減できる。

19. 抗議(救済の要求)

19-1. 抗議(救済の要求)はRRS61(RRS62)に従い、かつ、フィニッシュ後速やかにフィニッシュ運営艇にその意思を伝えなければならない(これは規則61.1(a)を変更している)。

抗議書はレース本部に、自艇のフィニッシュ後90分以内に提出しなければならない。

19-2. 審問の開始時間及び場所は公式掲示板に掲示し、関係者に通告される。抗議者、被抗議者及び証人は出席しなければならない。

20. 成績の算出

20-1. IRCクラス(Shonan Race I クラス)

2024年IRC TCC数値によるタイムオンタイム方式により修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合TCC数値の小さい艇を上位とする。

20-2. ORCクラス(Shonan Race O クラス)

2024年ORC シングルナンバーオールパースのタイムオンタイム方式により修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合TMF数値の小さい艇を上位とする。

20-3. OPENクラス(Shonan Race N クラス)、ダブルハンドクラス(Shonan Race N クラス)

・新春親善レース成績 レース委員会が設定したTMFによるタイムオンタイム方式により修正時間を算出する。

修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合TMF数値の小さい艇を上位とする。

・ Shonan Race 成績 レース委員会が設定したTMFによるタイムオンタイム方式により修正時間を算出する。

また、以下の申告があった場合所要時間に各修正値を減じて修正時間を算出する。修正時間は秒単位までとし、同タイムとなった場合TMF数値の小さい艇を上位とする。

◇女性、小学生以下、65歳以上乗艇の各1名につき 1%

- ◇乗員3名以下の参加の場合 1%
- ◇ジブファーラー使用の場合 1%
- ◇スピナーカー、ジェネカーなどを使用しない場合 2%
- ◇合計10%を限度とする。

21. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇にのみある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

レース参加者は、レースの前後ならびにレース中に生じた人身事故（死亡・傷害・行方不明等）および物的事故（沈没・盗難・損傷等）について、その責任を全て負うものとし、主催・協賛・協力等の諸団体は如何なる責任も負わない。

22. [DP] ごみの処分

レース艇及び支援艇から出たごみは、海上で投棄せず自艇で所持し続け、持ち帰り、陸上で処分しなければならない、これはスピナーカーの毛糸・ゴムバンドを含む。

23. レース本部の所在

〒238-0225 三浦市三崎町小網代 1286 リビエラシーボニアマリーナハーバー事務所
TEL 046-882-1286

以上